関連展示

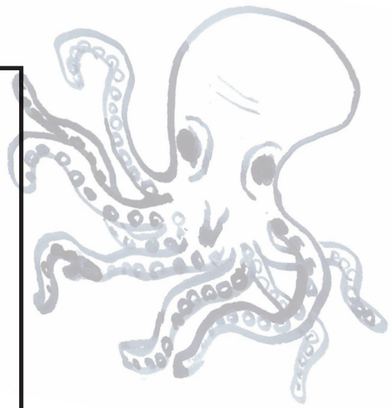
2011.3.11 大津波に襲われた沿岸集落で、かつて聞いた
《いいつたえ、むかしばなし、はなし》

海辺の暮らしは、山間部の暮らしとはまた異なる厳しさがあって、（舟底の板こ一枚、下は地獄のような）
そこでは、つねに真理としての「事実」への信仰があったのではないかと思います。

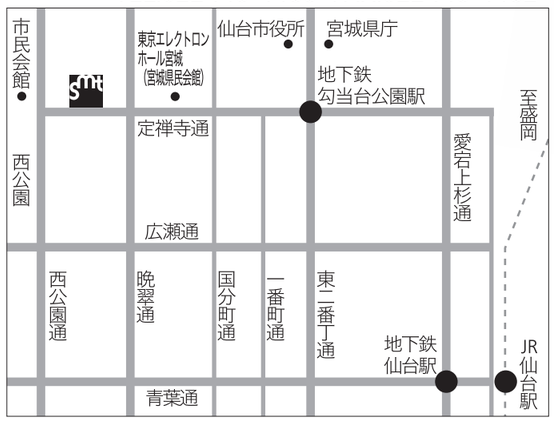
小野和子（みやぎ民話の会）

2011 年 3 月 11 日の大津波によって、大きな被害をこうむった県内沿岸集落で、かつて聞きとった話を、地域ごとにパネルで展示いたします。前回の南三陸町戸倉に続き、今回は石巻市雄勝町周辺の浜で聞いた７話を紹介いたします。

2014 年 2 月 28 日（金）−3 月 2 日（日）
9：00-22：00　観覧無料
せんだいメディアテーク７階ホワイエ
（スタジオシアター前）



お問合せ
せんだいメディアテーク 企画・活動支援室
仙台市青葉区春日町 2-1
TEL:022-713-4483　FAX:022-713-4482



としょかんメディアテーク フェスティバル

対話可能性

http://www.smt.jp/toplus/#7fminwa

※この用紙はリサイクルできます

「民話 声の図書室」記録映像上映

2014 年 3 月 1 日（土）9:30-17:25
せんだいメディアテーク７階スタジオシアター

大震災の悲しみをくぐって、失った家族や友のよみがえりのように、そしてまた、今は亡き人たちの涙の雫のように、地に落ちて芽を出すものがあることを知りました。

小野和子（みやぎ民話の会）

「みやぎ民話の会」は、民話を伝承する土地の語り手を訪ねその語りを聞き、そして記録する活動を、約 40 年にわたり続けてきました。その会員有志とせんだいメディアテークが協働し、会が 40 年にわたって記録してきた宮城県を中心とする民話語りの映像・音声を、だれもが活かせる共有財産として未来へ手渡していこうとする活動が、「民話 声の図書室」プロジェクトです。

今年度は、貴重な伝承の語り手が民話を語る姿をプロジェクトメンバーが聞き手となり、映像作家とともに記録しました。その映像を上映し、伝承の語りの面白さや奥深さを、観た方々に感じていただきたいと思っています。

入場無料、申込不要、出入自由

主催：みやぎ民話の会「民話 声の図書室」プロジェクトチーム / せんだいメディアテーク